

【高島市】 校務DX計画

「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果（文部科学省 令和5年11月実施）による本市の状況を踏まえ、特に課題と考える次の事項について、各学校と連携を図りながら校務DXの推進を図ります。

【本市における課題と校務DXに向けた取組について】

1. FAX、押印の原則廃止

FAXの使用は最小限にとどめるとともに、申請書等への押印の義務付けを廃止するなど、校務の効率化を図っています。

2. クラウドサービスの活用

本市では、全児童生徒および教職員に対し、LTE対応タブレット端末とともにMicrosoftアカウントを付与し、Microsoft365を活用した情報共有を行うなど、クラウドサービスを活用できる環境にあります。

しかしながら、各学校における校務DX化チェックリストの結果では、「保護者や教職員への調査・アンケートの実施集計や、教職員間の情報共有や連絡」など、一部業務においてクラウドサービスの活用が進んでいるものの、「児童生徒の欠席等連絡や保護者からの問い合わせや日程調整」など、保護者や児童生徒を対象とした活用が進んでいない状況です。

一部の学校においては、保護者との連絡手段として、保護者用連絡ツールを独自に導入し、保護者からの欠席連絡および学校からのお知らせ等をデジタルデータで配信するなど活用を進めていますが、依然として十分な活用ができていない学校があることから、教職員の業務負担軽減および保護者の利便性向上を図るため、教育委員会主導のもと整備を進めていくとともに、各種クラウドサービスの利活用について研究・実践し、校務の効率化をより一層推進します。

3. 校務システムのクラウド化

本市では、業務の効率化、事務負担の軽減および行政事務コストの削減を図るため、令和元年度にセンターサーバや統合型校務支援システム等を自庁設置方式（オンプレミス）により構築し運用してきましたが、サーバ機器等の経年劣化や保守期間終了によるハードとソフトの問題に対処するとともに、システム管理担当者の負担軽減および情報セキュリティ対策の機能強化を図るため、Microsoft365を基盤としたクラウドサービスを主体とする次世代の校務システムへの更新を行いました。

既に、校務支援システムへの名簿情報の一括取り込みの実施など、教職員の負担軽減に取り組んでいるところですが、オンラインストレージの活用や各システムへの連携、

コミュニケーションの迅速化・活発化できる環境など、さらなる校務の効率化を目指した新たな校務システムを構築し、令和8年3月2日から稼働しています。

今後は、校務系ネットワークと学習系ネットワークとの統合や、ローカルブレイクアウト、データ連携やセキュリティ対策などについての調査研究を進めるとともに、校務システム、校務端末等の更新時期やネットワーク統合後の組織体制を視野に入れつつ検討を重ねていきます。